

片付けマニュアル（指導者用）

◎すべてのグループが調理をし終わった時点から90分後をめぐりに所員が点検に来ます。それまでに以下の後片付けを終え、**必ず指導者が点検**を済ませておいてください。

1 飯盒・カレー鍋・流し・・・・・・・・・・ **ごはん係・カレー係**

(1) 飯盒・カレー鍋・ボウル

- ・金たわしやスポンジできちんと洗う！（ぬめり、コゲ除去）
- ・キッチンペーパーで水気を完全にふき取る。

(2) お玉、しゃもじは洗った後水気をふき取り、ボウルの中に入れておく。

(3) 流し全体、排水口に米粒等がないか確認する。

【点検の受け方】

- ① ステンレス部分の水を拭く。
- ② 「飯盒」と「カレー鍋」を、ステンレス部分に並べる。
- ③ ごはん係、カレー係は流しの近くで待つ。
- ④ 合格してから中央棟へ帰す。



2 かまど **かまど係** ※係会で説明 ※土台の8枚のレンガは高温のため注意！！

(1) 燃えカス、灰

- ・チリ取りに入れ、灰捨て場に捨てる。かまど付近にこぼれた小さな炭も拾う。

(2) レンガ

- ・12個のレンガを、元の場所（軒下）に返す。

◆雨天時、床に敷いた8個のレンガは、高温のため、必ず引率者が、元の場所（棟内水道下）に返す

(3) 道具6点セット（ちりとり、うちわ、火ばさみ、棒、十能、ほうき）

- ・倉庫に持っていき、種類ごとに分けて戻す。

【点検の受け方】

かまどの近く（軒下も可）で待つ。

3 テーブル・イス、生ごみバケツ、お茶のキーパー、燃えるごみ、耐火手袋

(1) テーブル・イス

- ・テーブル（脚は折るだけ、脚は途中で抜かない）とイスは倉庫に返す。

(2) 生ごみバケツ

- ・バケツ内の袋は縛って中央棟前の大きな生ごみ袋に入れ、バケツは倉庫に返す。

(3) お茶のキーパーは中を捨て、中央棟に返す。（洗う必要なし）

(4) 燃えるごみ ※ごみ袋、ごみ箱は所員が撤去

- ・紙皿、紙コップ、デザート容器、ビニール、使用した新聞紙は、各棟内のごみ箱に入れる。（紙皿等、重ねられるものは重ねて入れる。）

- ・団体で持参の物（余った新聞紙含む）は、団体で持ち帰る。

(5) 耐火手袋は引率者が各自中央棟に返却する。